

平成21年5月度 定例観察会 実施報告

「魚屋道と黒五谷・新緑に映える山肌と明るい溪流」

実施年月日	平成21年5月10日(日) 9時から16時 天候 晴れ
スケジュール	<p>9:05 阪急芦屋川出発</p> <p>9:15~25 芦屋川沿いの公園にて当番 コース 解散時刻予定 怪我に対して自己責任など説明</p> <p>12:05~45 横池にて昼食</p> <p>14:20 打越峠 解散予定の15時から1時間程度遅れるため希望者を募り急ぐ人は別行動とする。10名下山(加藤引率)</p> <p>16:00 岡本南公園着 挨拶後解散</p>
担当ならびに分担	<p>2班 荻野(俊、優) 柏堂 加藤 日下部 國村(美、幸) 久保(紘) 9名</p> <p>受付 一般 荻野(優) 会員 日下部 誘導 國村(幸) 会計 國村(美)</p> <p>先導 久保 写真 荻野(俊) 記録 柏堂 担当以外に福本さんに適宜説明依頼</p>
参加	一般 32名(うち小学生2名) 会員 19名 合計 52名
観察したもの	<ul style="list-style-type: none"> ・ 芦屋川の水車 アカメガシワの新芽の染色 会下山の弥生遺跡 ・ クロモジ シヤシャンボの説明 ・ コウヤボウキやヤマウルシなどの葉序 ・ 木本 花 ニセアカシア モチツツジ ヤマツツジ コバノガマズミ ガマズミ カマツカ ウラジロノキ ミヤコツツジ スノキ ウスノキ アクシバ オオカメノキ ムベ シロバナウンゼン フジ マルバアオダモ ツクバネウツギ コツクバネウツギ アケビ ミツバアケビ ・ 草本 ミヤマナルコユリ カキドオシ キツネノボタン コナスビ クサイチゴ ノイバラ ノミノフスマ ニガナ セイヨウカラシナ カタバミ ウマノアシガタ タチツボスミレ ペラペラヨメナ ウラシマソウ ・ アベマキ リンボク イヌサンショウ タカノツメ ハリギリ クマサンショウ ・ 鳴き声 オオルリ キビタキ センダイムシクイ ・ 昆虫 シジミチョウの仲間 ジャノメチョウの仲間 モンキアゲハ キンモンガ
備考 気づいたこと・よかった点・悪かった点・課題等	<ol style="list-style-type: none"> 1. 人数が多いのと、狭い道で説明が行き届かなかった。多人数のときは中間にも説明員を置いて少なくとも10名程度を対象に観察するような配慮が必要だ。 2. 季節、コースなど参加が多いと思えるときはマイクの使用も考慮すべきだった。 3. コースの途中でもっと早く進むよう希望も出されたが、「観察会」ということで我慢してもらった。 4. ビラでは15時解散としていたが、1時間遅れになってしまった。季節、コース(すぐ駅があるなど)を見てあえて遅くしたものだが、途中早く降りたい人を募り別行動とした。自然観察に興味を持たない人やトイレなどの関係で希望者が10人あり会員を同行させ別行動とした。やむをえない処置ではあるが残ったものは落ちついて観察が継続できた。

なお下記はそのとき参加された子供さんをお願いして感想文をいただきましたので添付させていただきます。

先日参加させていただいた、樋野雄大です。

皆様に、色々なことを教えていただき、ありがとうございました。参加するきっかけは二つありました。

一つ目は、普段山登りに行く場所で、自然観察会があると書いてあったので、そこで自然観察だなんて、そんなに植物があるのかなと思いました。

二つ目は、僕は鳥のファンなので、自然観察だったら鳥を見ることができるのかなとひそかに期待していました。

僕は植物に関しては、あまり興味がありませんでしたが、けっこう色々な植物があったので、驚きました。

アベマキや、ニセアカシヤ、モチツツジなど会の方の説明を聞いて興味を持ちました。

鳥については、双眼鏡を持ってきている人が、少なかったので、鳥のファンがいないのかなと思っていました。するとツイスの双眼鏡を持っている人がいたので、この人は絶対に鳥のファンだと思ったその双眼鏡を持っていた久保さんが鳥のファンだったので、とてもうれしかったです。

鳥の話はもちろん、日本野鳥の会の探鳥会や、鳥のファンならではのことや、雑談をしたり、色々な話をしました。

また、キビタキや、オオルリの鳴き声も聞くことができました。

いつも歩いている六甲の道と、自然観察をしながら歩く道は同じですが、全く違う道に思え、六甲の自然の魅力を実感しました。

またどこかで皆様にお会いすることがあると思いますが、その時は、鳥や植物などの話ができることを楽しみにしています。

また参加したいです。